

2002年4月23日 第3種郵便物認可 (毎月3回5の日発行)
2014年10月2日発行 SSKW 増刊通巻3409号



SSKW

moderato

【モデラート：中くらいの速さで(音楽用語)】

Vol.62

【特集】「潜入 みらい社スコープ!!」…… P2-P5

■ベーカリーだいちの森…… P6

■「孤立無援」：理事長コラム…… P7

■「ますます華麗に 節子の部屋」：西條節子さんコラム…… P7

■「あっと!」表紙解説…… P8

橋爪 裕二さん(いとぐるま)

みらい社は こんなところです

就労移行支援 (10名)
就労継続支援B型 (30名)

基本方針

社員（利用者）が仕事を通じて社会のルールを学び
社会性を養い、心身ともに豊かで、自信と誇りを
持った社会人になることを支援します。

作業時間

週休2日制
就業時間：9時～17時

作業内容

段ボール組立、自動車部品組立
電気部品組立、試供品の梱包
施設外作業：洗濯・清掃業務、部品組立

余暇活動

法人スポーツ大会、忘年会、社員旅行
サークル活動：毎週水曜日、
勤務終了後（美術・カラオケ）

自治会（ひまわり会）

社員主体による自治会

藤沢育成会唯一の就労系事業所「みらい社」！
社員（利用者）の皆さんがどんな仕事をして、
「就労」に向けてどのように取り組んでいるか、
「みらい社スコープ」で覗いてみましょう！



特集 みらい社スコープ!!

みらい社の1日



第2工場のホワイトボード。
朝、それぞれの仕事を確認します。

- 9時…………… 朝礼→仕事開始
- 10時30分…………… 10分休憩
- 10時40分…………… 仕事再開
- 12時…………… 昼休憩（1時間休憩）
- 13時…………… 仕事再開
- 15時…………… 15分休憩
- 15時15分…………… 仕事再開
- 17時…………… 終業



第1工場



第1工場は29名の方が所属しています。
18歳～60歳まで幅広い年齢の利用者が集まっています。
作業は車の部品の組み立てやテレビの部品の組み立て、
お菓子の化粧箱作りなど大きい物から小さい物まで取り
組んでいます。企業さんからの依頼で飛び込みの作業も
あり、非常に様々な種類の作業を行っています。
一般企業から仕事をいただいているので、納期がありま
す。責任をもって出荷の納期に間に合うよう、利用者一丸
となって頑張っています。
仕事をいただいている企業さんは、みらい社を会社として
扱ってくれます。みらい社の利用者もみらい社という会社
の社員（利用者）として作業を通じて責任や自信、誇りが
持てるよう職員は支援します。



第2工場



第2工場は21名の方が所属しています。
毎朝、ホワイトボードで自分のやることを確認して作業に入
ります。作業内容は段ボールの組み立て、シール貼り、ボンド塗
り、ネジの組み立てやドライバー作業がメインです。忙しくな
ることはありますが、みんなで協力して毎日作業しています！



施設外 しらゆり園



横浜市にある特別養護老人ホームしらゆり園にて、月～金曜日の9:00～16:30まで仕事をしています。主な仕事は、1階フロア・3階フロアの清掃、入居の方の衣類洗濯などです。また、GWやお盆、年末年始にも行っています。施設外就労先として、仕事のルールやマナーなど就労に必要なことが経験出来る場所です。



朝、社員全員で一日の予定を確認します。



曜日ごとに掃除場所が決まっています。掃除方法は、職員が確認しています。



入居者の洗濯物をたたんで、各フロアに届けています。入居者が多く、大量の洗濯物をたたみますが、やりがいがあります。

大きい洗濯機2台フル回転して、汚れ物を洗います。



図書館です。休憩時間と昼食時に使用させてもらっています。一般の方との共有スペースにもなっています。

施設外 八部公園



毎週、木、金は、施設外就労の一環として、鶴沼海岸にある八部公園で清掃作業をしています。八部公園は、プールやテニスコート、野球場等がある大きな公園です。みらい社は、そこで通路や植え込みの清掃や除草といった作業を行っています。暑い日も、寒い日も、みんなで頑張っています。



施設外 荏原冷熱システム



施設外就労の場として、「株式会社 荏原冷熱システム」で活動しています。主な作業は冷凍機や冷却塔用のネジ組み立て・ネジボルトのセット作業です。（冷凍機は、市庁舎、商業施設、スタジアムなど幅広い場所で使われています。）

お昼は社員食堂で、荏原冷熱システムの社員さんと一緒に食事をとります。自動販売機のお茶が支給される為、水分補給はバッチリ。夏は冷たく冬は温かいお茶が飲めます。また、荏原工場内にはみらい社専用のスペースが用意されており、冷暖房も完備されています。



先輩にインタビュー！

みらい社から就職し、現在も会社でバリバリ働かれています方をご紹介します。
伊藤さんは、2009年にみらい社から株式会社ファーストリテイリングに就職し、ユニクロの店舗スタッフとして活躍されています。現在5年目を迎える伊藤さんにインタビューしました。



いとうよしゆき
伊藤剛幸さん

伊藤さんにとって仕事とは？

衣食住にはかかせないもの。自分のしたいことをするために必要なこと。

仕事を続ける秘訣は何ですか？

やる気と忍耐力。要求に応えること。自分がやらないと相手に迷惑がかかる。お客さんのため、会社のため、自分のために努力が必要。

伊藤さんは仕事が休みの日によくみらい社に来てくれます。

そして、就職の魅力や就職に向けてのコツ、就職に向けての意識と決意の大切さをみらい社の社員の方に伝えてくれます。実際にみらい社の中で講演もやって頂いたこともあります。本当に頼もしい先輩です。伊藤さんと話していると社会人としての意識の高さ、プロ意識を感じ、私自身も学ばせてもらったり、励まされたりしています。（就労支援員：青木早紀）

みらい社から就職された方の現在



ベーカリー【湘南だいち】 だいちの森

だいちの森では、ベーカリー（パンの製造）とショップ（販売）に分かれて作業に取り組んでいます。

ベーカリーでは、トッピングの作業、焼きあがったパンをトレーに移す作業、ドーナツの生地を40グラムに量り分けていただく作業、パンの冷凍生地を鉄板に並べていただく作業など、パンの製造に関する様々な作業に取り組んでいます。

ショップでは焼きあがったパンを店頭で並べる作業、お客様が購入したパンを袋詰めする作業、レジ打ちなどのパンの販売に関することや、ドリンク作りやカレーやスープを席まで運ぶ喫茶に関わる仕事もしています。

（湘南だいち：大矢・柿澤）



湘南だいちの給食用パンも私たちが作っています。

●ベーカリーに参加して楽しいことはなんですか？

櫻井さん：ドーナツの生地を絞る作業が楽しい。ぴったり40グラムになった時すごく嬉しい。プレーンもチョコも好きです。

山本さん：焼きそばパンのトッピングが好き。

●ベーカリーに参加して大変なことはなんですか？

相澤さん：ドーナツを40グラムに合わせるのが難しい。

櫻井さん：ずっと立っているのは疲れるけど、大変なことはない。

●ショップに参加して楽しいこと、嬉しいことはなんですか？

宮下さん：レジ打ちやパン並べなどが楽しい。

阿部さん：レジの仕事をしているとき、お客さんが笑顔になるとき。

●ショップに参加して大変なことはなんですか？

宮下さん：つば（を吐くこと）や紙（ペーパータオルの無駄遣い）を我慢すること

阿部さん：立っている仕事なので大変だけど、運動になるので頑張ってます。

●ショップに参加しての感想は？

宮下さん：黒糖やチョコレートの生地が似ているので、クロワッサンが出て欲しい。

ミニパン30円～
菓子パン120円～
惣菜パン130円～
カレーセット（選べるカレー、ナン、ドリンク）500円
スープセット（選べるスープ、好きなパン、ドリンク）400円



えんじんきみょう コラム 縁尋機妙

社会福祉法人藤沢育成会 理事長 米村洋一

孤立無援（こりつむえん）

周りに頼るものがなく、助けのないさま。

夜、顔見知りの奥さんが私の家を訪ねてくれました。ご夫婦ともに「犬友」で朝夕の犬の散歩の時、よく挨拶をしたりしている方でしたが、私が障害福祉法人に関わっていることを知っておられたので、訪ねてこられたのでした。

話を伺ってみるとご子息が50歳近くになっていて発達障害、子供のころから頭が良いけれど、自己中心的なところがある子だと思っているうちに、就職しても対人関係がうまくいかず、借金を重ねてついに引きこもりになったそうです。

ご両親は子供の借金の返済のために老後に備えた蓄えまで使い、いつもお目にかかっていたご主人はご子息のことでうつ病になって入院してしまい、奥様が一人で老犬とご子息の面倒を見ておられたのですが、自分もうつ

状態になり始め、思い余って訪ねてこられたのです。

もちろん市役所の窓口にも何度も相談に行ったのですが、ご子息の面倒を見るのが大変なら成年後見の制度を利用しなさいとか、少時的外れなアドバイスしかなくて途方に暮れておられました。

さっそく職員に教えてもらい、相談に乗ってもらえそうな近くの法人を紹介してもらうことができました。幸いこの責任者の方は藤沢育成会のこともよく御存じで、親身になって相談していただけているようです。

奥様はもっと前に発達障害についてわかっていたらと悔やまれていました。考えてみると、教養もあり、社会的地位もある人の方が、他人に頼らず自分たちで何とかしようと努力しているうちに、大変な状況になってしまうことが多いのではないのでしょうか？

藤沢育成会では法人の中長期計画「ネクストプラン」で相談事業を充実させることを重要なテーマの一つとして掲げています。相談事業はまだ制度的にも貧弱でやればやるほど赤字になりがちな事業ですが、知的障害にかかわる制度も無い時代に親たちが作った法人の歴史を踏まえて、力を入れたい事業の一つです。



ますます華麗に 節子の部屋

藤沢育成会後援会『いずみ』会長
西条節子

みなさん 驚く あのねのね

いつか「コンクリートから人」へと優しい政策を話され、期待したのもつかの間、変身されたら「人からコンクリートへ」と変わってしまいました。一体、人間である特に社会的に弱い力の私たちは、スクラムをつなぐしかありません！と嘆きながら、スーパーの中を歩いていたとき、シンデレラならぬトンデレラは、かぼちゃの安いのにつき当たったのです。そうだ、こういうときは、知恵を出して美味しい栄養価の高いものを作るべしと、150円で2

切れ買いました。

見かけは悪いけど、美味しそう。さて、そこで腕が鳴る鳴る、固いけれどポンポン切りました。大鍋にかぼちゃがかくれる位の水量で煮立たせる。ブイヨン3コ、コショウ少々（好み）、砂糖ティースプーン1杯位、塩ちょっとネ、10～15分で煮くずれてくる。火を止めて、冷えたころあいを見て、ミキサーにかけると、緑色の栄養たっぷりのポタージュ 10人前。美味しい！これこそ栄養の達人さ。

「ホントに節子さんつくったの？」

「何言ってるの、料理の達人ってこと知らなかったの～」

と一人クスクス笑いながら、あっそう、だから私はこだわりをもち続けられる友人が多いのでしょね、幸せなこと！！そこから知恵が出てくるのです！

『あっと!』 日常の中で 見つけたアート



「湘南だいちいとぐるまのみなさん」（表紙の絵のタイトル）
（表紙の絵のタイトル）
いとぐるまには車できています。仕事を頑張っています。
この絵は「まじり」を書きました。「男の子と女の子」がいます。

橋爪さんは、4月にいとぐるまが開所してから毎日この絵を描き続けています。同じような人が何人もいるように見えますが、実は少しずつ異なっています。女の人、男の人、職員、パパ、ママ…メガネをかけていたり、髪型がちがったり、中には「鬼」がいることもあります。日々、何枚も書き続けていらっしや、同じような絵にみえますが、必ずご本人なりのテーマがあります。

橋爪さんの絵をみたお客さんからは、たくさんのお褒めのことばをいただいています。これをデザインしたグッズを作ってほしいとの要望もでているほどです。

彼の秀作は、だいのいろいろな場所に飾ってあります。ぜひ、遊びにいらしてください。（いとぐるま職員：渡辺麻希子）



PROFILE
橋爪 裕二さん
いとぐるま